

# 応急手当(救命処置)

## ● 反応や呼吸があるかどうか確かめる

水におぼれた、のどに異物が詰まったなどの事故の場合、発見が早くて大声で泣くようなら反応も呼吸もあるのでひと安心です。安静に寝かせて様子をみます。

## ● 反応がなければ、助けを呼び救命処置の実行を

耳元で名前を呼び、反応がなければ、大声で周囲の人に助けを求め、119番通報、AEDを手配しんばいそせいします。呼吸していなければ、ただちに胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせた心肺蘇生を行います。正しい方法をマスターすることは重要ですが、緊急の場で行動を起こす「何か」をする勇気をもつことが大切です。

### 胸骨圧迫の手順

#### ● 乳児(1歳未満)

両乳頭を結ぶ線の少し足側を目安とする胸のまん中を2本指で押す。

#### ● 小児(1歳以上)

胸のまん中を、両手または片手の手のひらで押す。

圧迫の強さ：胸の厚さの3分の1が沈む強さ

圧迫の速さ：1分間に少なくとも100～120回

回数：30回完了後になるべく早く人工呼吸へ移る

### 人工呼吸の手順

#### 気道確保

ひたいを押さえながらあごを持ち上げ、顔をのけぞるような姿勢にする。

#### 人工呼吸

気道を確保し、こどもの鼻をつまんで口に息を吹き込む。約1秒かけて胸が上がるの見えるまで吹き込む。

回数：息の吹き込みは10秒以内に2回

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせ(心肺蘇生)をくり返す。

★AEDが到着したら、乳児から未就学児は小児用パッドや小児用モード(ない場合は成人用パッド)を使用する。